

登山道はこうして補修されます

その2 ロープ柵の設置

登山道を外れて植物たちを傷めないように、杭を打ち、ロープを張って柵をつくります。

before

after



皆さんも生えている
植物を踏まないよう
気を付けてね！

before

after



階段の脇を歩いて土が削れるのを
防ぐための柵を設置。

手すりではないので
つかまわないでね！

登山道はこうして補修されます

その3 水切り工・ぬかるみ対策

水切り工

植物がなくなりむき出しになった地面が、さらに水の流れて削られるのを防ぐため、流れを分散させます。



通常は、登山道を横切るように丸太を設置します。
こちらの写真は、試験的に溝を掘って底板を貼り水が流れやすいようにしました。

大倉尾根にて初の試み！
うまくいくかな



土砂が流出した階段



ぬかるみ対策

ぬかるみを避けて歩くと、登山道を拡幅してしまい、植生が壊されるので砂利を敷きます。



登山道はこうして補修されます

その4 階段の補修

階段補修

段差を避けて歩くと登山道の脇が削られます。石や土のうで道を整備し、土砂流出を防ぎます。

階段はつかれる…でも脇は通らないように！



before



after

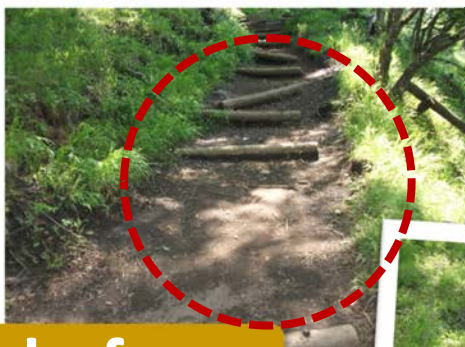


before

崩れた横木を直したり、老朽化したものは交換します。



after



before

登山者に危険がないよう気を付けて作業しよう！



after

いつもありがとうございます
ごさいます



登山道はこうして補修されます

その5 植生回復という成果

階段の脇に枝などを置いて、
通れないようにバリケードを
作ります。



before

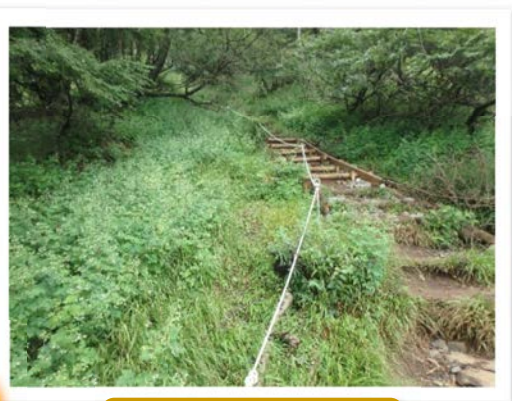


after

バリケードが、土砂や水
を止める役割も果たし、
溜まった土砂に草が生え
て植生回復につながって
いきます。



before



after

植生が回復
しています！



before



after

高校生が取り組む 「丹沢やまみち再生体験」について



←整備した登山道

登山道がぬかるま
ないよう、石を敷
き詰める作業→



←現場まで石など
の資材を運ぶ



↑丸太で作った枠を、
カケヤ（ハンマー）で
杭を打って固定する→



2015



2016



2017

神奈川県高校体育連盟登山専門部の高校生に呼びかけ、毎年、登山道を実際に補修しながら、登山道の役割や登山マナーを学べる体験会を行っています。

（主催：NPO法人みろく山の会
共催：丹沢大山自然再生委員会）



平成29年1月には
8回目となる体験会を、
大倉尾根線一本松ベン
チ手前で行いました。

これまでの取組

補修場所：大倉尾根線

（参加校数・人数）

平成21年度	4校から20名
平成22年度	5校から29名
平成23年度	7校から40名
平成24年度	5校から31名
平成25年度	6校から46名
平成26年度	3校から43名
平成27年度	6校から54名
平成28年度	4校から48名



丹沢大山自然再生の想いを次世代へ リーダーからのメッセージ

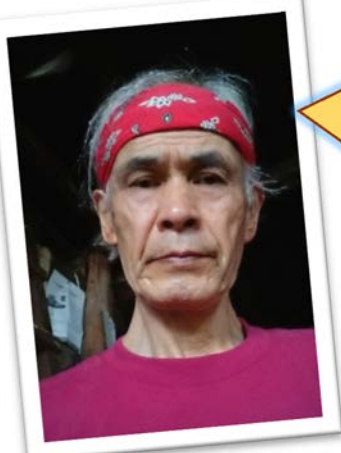


こんにちは！
補修活動中に、若い登山者からの笑顔
と「コンニチハ」の一言が、ボラン
ティアで肉体労働している中高年には
なりよりの励ましです。

NPO法人みろく山の会
自然保護部長 鈴木 茂

こんにちは！
かけがいの無い丹沢大山の自然。
「壊すのは人、護るのも人」の思いを
基に活動をしています。
みなさんも、環境保全にいらっしゃるの
ご協力をお願いします。

神奈川県自然公園指導員連絡会
会長 森本 裕



こんにちは！
オーバーユースでどんどん壊された丹
沢の山道を、もっと歩きやすく、壊れ
にくい道になるよう努力していきま
しょう。

鍋割山荘 草野 延孝



自然再生のご協力
よろしくお願いします。



おわりに…

次世代を担う皆さんへ

「後の世代にも自然豊かな山を残したい」

「丹沢はこのままで大丈夫なのか」

そんな思いから登山道を補修してきた

ボランティアの方々の年齢層は60代から70代が中心です。

この方々の地道な登山道補修によって、

私たちは快適な山歩きを楽しむことができます。

補修箇所の一つ一つは、

丹沢を愛する人々からのメッセージともいえるでしょう。

若い皆さんには、このメッセージを受け止めるとともに、

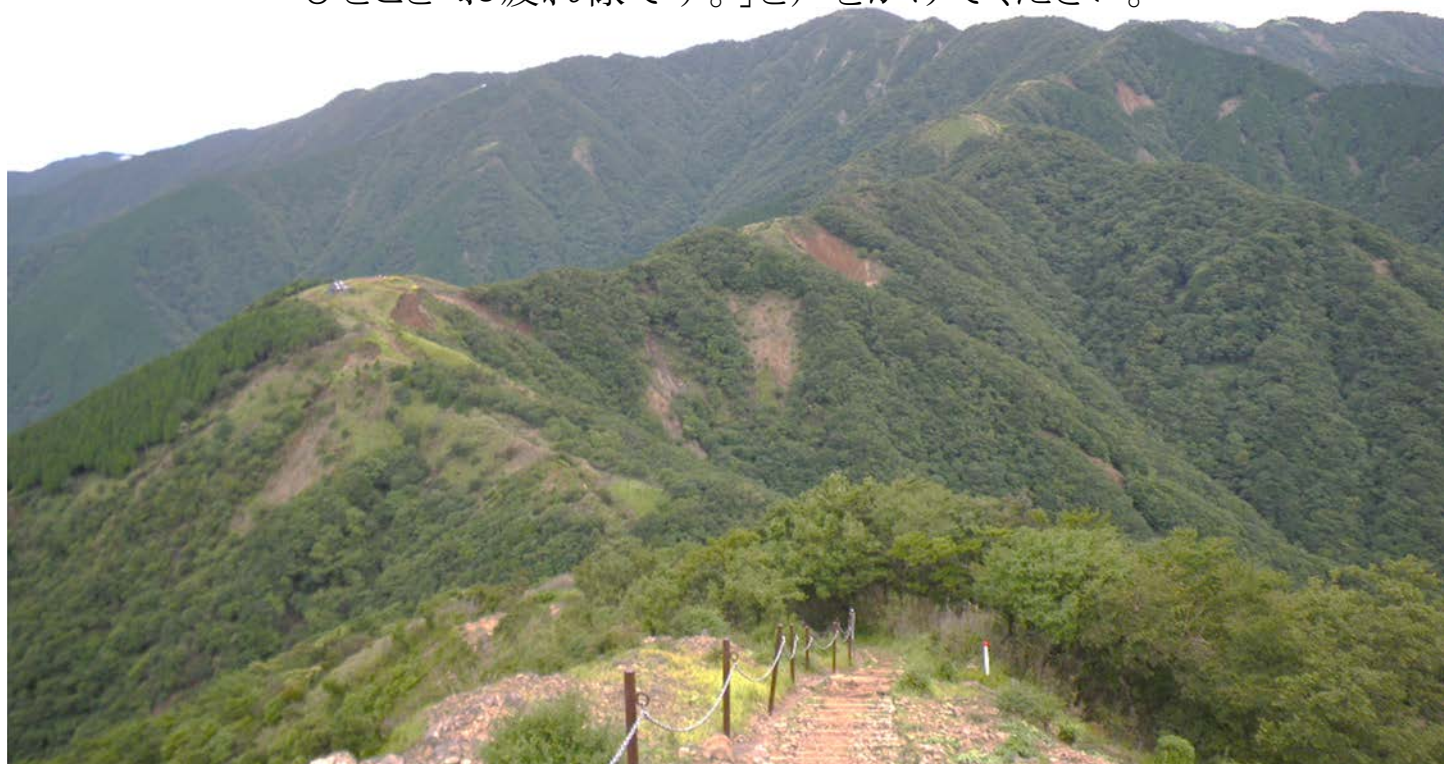
「丹沢の自然を守る」

という心のバトンも引き継いでもらえたら、と思います。

そして、もし丹沢を歩く機会があり、補修作業の現場に出会ったなら

感謝の気持ちを込めて

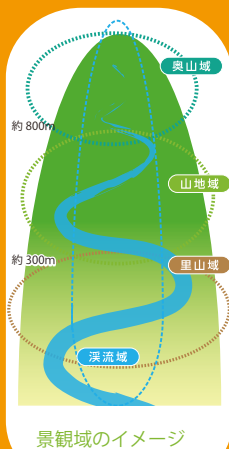
ひとこと「お疲れ様です。」と声をかけてください。



丹沢大山の自然再生の取組

丹沢大山自然再生基本構想（平成18年）

4つの景観域と自然再生の目標



奥山域
(ブナ林域)

うっそうとしたブナ林の再生



山地域
(人工林・二次林域)

生きものも水土も健全でなりわいも
成り立つ森林への再生



里山域
(里地里山域)

多様な生きものが暮らし、
山の恵みを受ける里の再生



渓流域

生きものとおいしい水を
育む安心・安全な沢



人も自然もいきいきとした丹沢大山

丹沢大山総合調査

(平成16
5
17年度)

丹沢大山自然再生委員会

構成員
平成29年9月現在42者

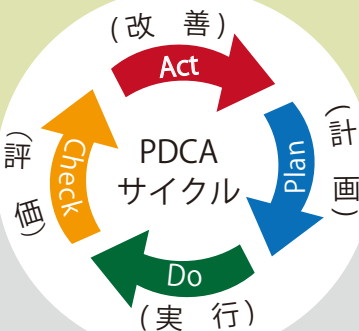
国

神奈川県

市町村

団体

企業



構成員による取組

〇〇計画

丹沢大山自然再生計画

丹沢大山自然再生基本構想に基づいて「丹沢大山自然再生計画」を策定し、8つの特定課題の解決を目指す事業を実行しています。

□□計画

◎◎計画

△△計画

奥山域

ブナ林の再生



山地域

生きものも水土も健全でなりわいも
成り立つ森林への再生



里山域

多様な生きものが暮らし、
山の恵みを受ける里の再生



渓流域

渓流生態系の再生



景観域
共通

シカ等野生動物の保護管理



景観域
共通

外来種の監視と防除



景観域
共通

稀少動植物の保全



景観域
共通

自然公園の利用のあり方



8つの特定課題

計画期間：(第1期)平成19年4月～24年3月 (第2期)平成24年4月～29年3月 (第3期)平成29年4月～34年3月